

福祉生活病院常任委員会資料

(平成27年6月24日)

〔件 名〕

- 1 山陰海岸ジオパーク散走体験会の開催について
(環境立県推進課)・・・1
- 2 「ライトダウンinとっとり2015」の開催について
(環境立県推進課)・・・2
- 3 山陰海岸ジオパークトレイル協議会設立総会の開催について
(緑豊かな自然課)・・・4

生活環境部



山陰海岸ジオパーク散走体験会の開催について

平成27年6月24日
環境立県推進課

環境に優しい自転車の魅力を再認識していただき、その利用を一層促進するため、大手自転車メーカーの協力のもと、山陰海岸ジオパークエリアにおいて、地域住民や行政関係者などを対象とした散走（※）イベント「山陰海岸ジオパーク散走体験会」を開催する。

【※「散走」とは】

「散歩をするように気ままに、自転車で走る」ことを意味し、自転車を楽しむのではなく自転車で何かを楽しむものとして、株式会社シマノが提案する新しい考え方。

- ・「自転車で走ること」が目的ではなく、「対象となるエリアにあるコトやモノを楽しむこと」を目的とした新しい自転車の楽しみ方
- ・徒歩よりも行動範囲が広く、車よりもゆったりと周囲の景色を眺めながら走ることができる自転車で、対象エリアを巡って様々な発見や出会いを楽しむというもの

記

- 日時 7月10日（金）（午後2時～4時15分）から7月11日（土）（午前10時～午後4時）
- 場所 （1日目）鳥取市サイクリングターミナル砂丘の家
（2日目）岩美町立渚交流館及び山陰海岸ジオパークエリア（鳥取砂丘や浦富海岸周辺）
- 参加者 「とっとりサイクルツーリズムの会」会員など地元の自転車愛好家や学生、地域住民、行政関係者
- 内容
（1日目）
 - 散走フォーラム及びコースづくりワークショップ
 - ・（株）シマノによる自転車の環境や観光、健康への効用に関する講演
 - ・山陰海岸ジオパークの魅力を自転車で楽しむためのテーマ等を検討し、散走コースを作成するワークショップ
 - 散走体験等
 - ・前日のワークショップで作成した山陰海岸ジオパークの散走コースの実走
 - ・コース検証やより楽しい実施方法等についての意見交換等
（2日目）
 - 散走体験等
 - ・前日のワークショップで作成した山陰海岸ジオパークの散走コースの実走
 - ・コース検証やより楽しい実施方法等についての意見交換等
- 主催等 主催：鳥取県、鳥取市、岩美町
協力：株式会社シマノ（大阪府堺市）
- 今後の予定
当体験会の参加者が、体験会で学んだアイデアやノウハウを活かし、県内各地域で主体的に散走を実施していただくことにより、地域の資源発掘や散策等への自転車活用を促進する。

「ライトダウン in とっとり 2015」の開催について

平成27年6月24日
環境立県推進課

本県では、地球温暖化防止を推進するため、夏至から七夕の時期にライトアップ施設や家庭での消灯を呼びかける「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」に平成20年度から取り組んでいる。

今年度も引き続き、県民に対する地球温暖化防止の意識啓発及び省エネルギー活動の推進を目的として、下記のとおり啓発イベントを開催する。

記

1 日 時

平成27年7月2日(木) 午後7時～8時

2 場 所

とりぎん文化会館フリースペース

3 主 催 等

主催：鳥取県 共催：鳥取県地球温暖化防止活動推進センター

4 参 加 者

県民 100名程度

5 イベント名

ライトダウン in とっとり 2015 ～あかりを消して地球を想う夜～

6 内 容

①クールビズファッションショー

- ・グッドヒル株が提案するクールビズファッションの紹介
- ・鳥取敬愛高等学校の学生がデザインした「鳥取らしく、涼しさを感じるポロシャツ」の紹介
- ・バックミュージックとして琴の演奏(奏者：とっとり邦楽合奏団)

②ライトダウンメッセージ

- ・公立鳥取環境大学のサークル「地球環境を考える会」による地球温暖化防止に向けたメッセージ(内容：地球温暖化の現状をふまえ、温暖化防止に向けて一緒に取り組もうという呼びかけ)

③ミニコンサート

- ・鳥取市少年少女合唱団による合唱
- ・打楽器奏者 堀田理恵さんによるマリンバ演奏
〈演奏曲〉・見上げてごらん夜の星を ・Moon River 他

【会場の演出】

- ・ソーラー発電式蓄電池や電気自動車の蓄電池を利用して、「木のあかり(木と和紙のアート照明)」やLEDインテリア照明(鳥取電子株)を点灯する。
- ・その他、県内企業の省エネ製品等のパネル展示を行う。

7 県庁舎での取り組み

当日は一斉退庁日とし、速やかな退庁を呼びかけ、午後7時までに県庁舎(本庁舎、第二庁舎、議会議棟、議会棟別館及び車庫棟)を消灯する。(緊急用務で使用する部分は除く。)

ライトダウンINとっとり2015

入場
無料

～あかりを消して地球を想う夜～

7月2日(木) 夜7時～8時

とりぎん文化会館 フリースペース



鳥取市出身 打楽器奏者
堀田理恵さん

★クールビズファッション披露

(BGM演奏:とっとり邦楽合奏団 大西瑞香さん、倉信聖乃さん)

★ライトダウンメッセージ

★鳥取市少年少女合唱団による合唱

★マリンバコンサート

第2回鳥取県クラシックアーティスト・オーディション優秀賞受賞
堀田理恵さん

♪ 見上げてごらん夜の星を / いずみたく

♪ Moon River / Henry Mancini

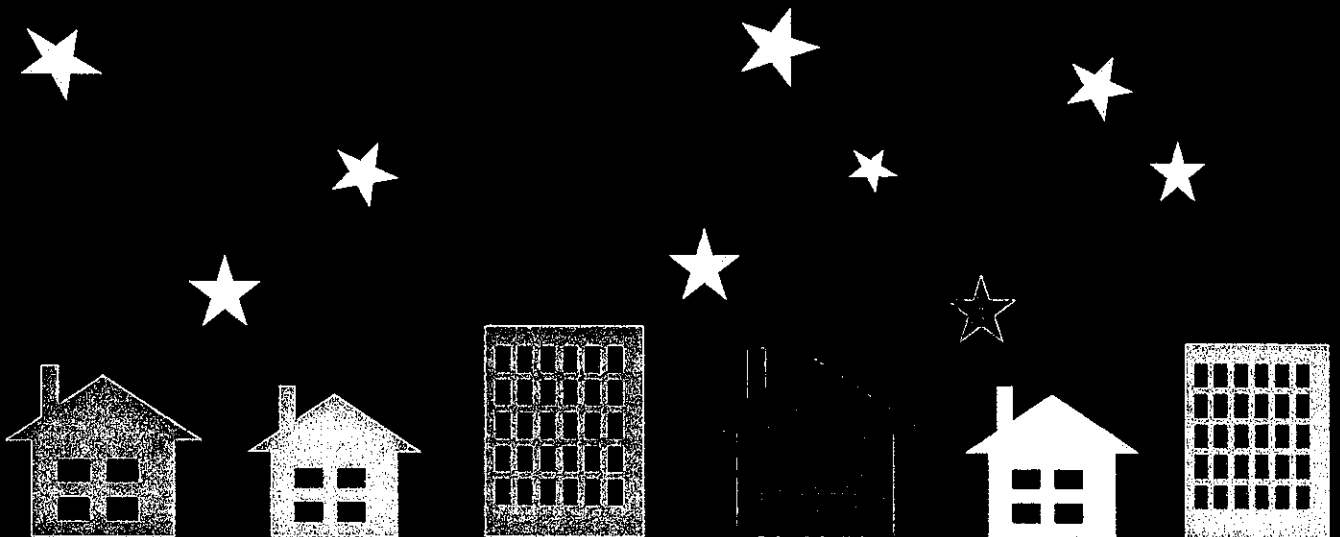
♪ Zamba para escuchar tu silencio / Guillo Espel

♪ Musetta's waltz~from La Boheme~

/ Giacomo Puccini(Arr.Eric Sammut)

★蓄電池を使用した会場演出

- ・木のあかり(木と和紙のアート照明)
- ・鳥取電子協のLEDインテリア照明



主催:鳥取県 問合せ先:環境立県推進課 0857-26-7875
共催:鳥取県地球温暖化防止活動推進センター 協力:(公財)鳥取県文化振興財団

山陰海岸ジオパークトレイル協議会設立総会の開催について

平成27年6月24日
緑豊かな自然課
観光戦略課

昨年度実施した山陰海岸ジオパークエリア（鳥取県内）におけるロングトレイルのルート整備に関する調査結果を踏まえ、ジオパークエリアにおける新たな魅力の一つとして誘客を進めるため、ルート整備及び運営を推進していくための協議会を設立する。

※ロングトレイルとは、登山道、自然歩道など、「自然に親しみながら歩く」ことを楽しむことができる距離の長い道。自然に親しまいたいといった志向や健康志向が高まる中、国内の多くの地域で取組が進められている。

1 山陰海岸ジオパークトレイル協議会設立総会について

(1) 設立趣旨

ジオパークの自然を守りながら観光振興及び地域活性化につなげることを目的に、官民一体となって山陰海岸ジオパークトレイル協議会を設立し、山陰海岸ジオパークエリアにその豊かな自然や文化、歴史、人々の暮らしなどに触れながら歩くロングトレイルルートを整備する。

(2) 開催日・場所

- (ア) 日時 平成27年7月1日（水） 午後2時30分～5時
(イ) 場所 鳥取県立図書館2階大研修室

(3) 参加機関（予定）

鳥取市、岩美町、新温泉町、環境省浦富自然保護官事務所、東部生活環境事務所、山陰海岸ジオパーク推進協議会、鳥取県観光連盟、鳥取市観光コンベンション協会、岩美町観光協会、鳥取県自然体験塾、鳥取商工会議所、岩美町商工会、鳥取県ジオガイド交流会、山陰海岸学習館、日本ロングトレイル協議会、ジオバイザリースタッフ等（事務局：鳥取県緑豊かな自然課）

(4) 内容

規約の決定、会長・副会長の選出を行うほか、昨年度の調査結果を踏まえ、受入れ体制の整備等を進めるための事業計画を決定する。

(5) 記念講演会の開催

- (ア) 演題 「広がるロングトレイル」
(イ) 演者 中村 達氏（日本ロングトレイル協議会代表委員、日本山岳ガイド協会特別委員）

2 昨年度の調査結果概要

(1) 調査目的等

山陰海岸ジオパークの新たな魅力の一つとして誘客を進めるため、ジオパークエリア（鳥取県内）におけるロングトレイルルートの整備について、検討委員会を設け、ルート案や誘客等を進めるに当たり必要な取組・課題等について調査・検討を行った。

[山陰海岸ジオパークロングトレイルルート検討委員会]

鳥取市、岩美町、鳥取県観光連盟、鳥取市観光コンベンション協会、岩美町観光協会、鳥取自然体験塾、鳥取県ジオガイド交流会、鳥取県（新温泉町オブザーバー参加）

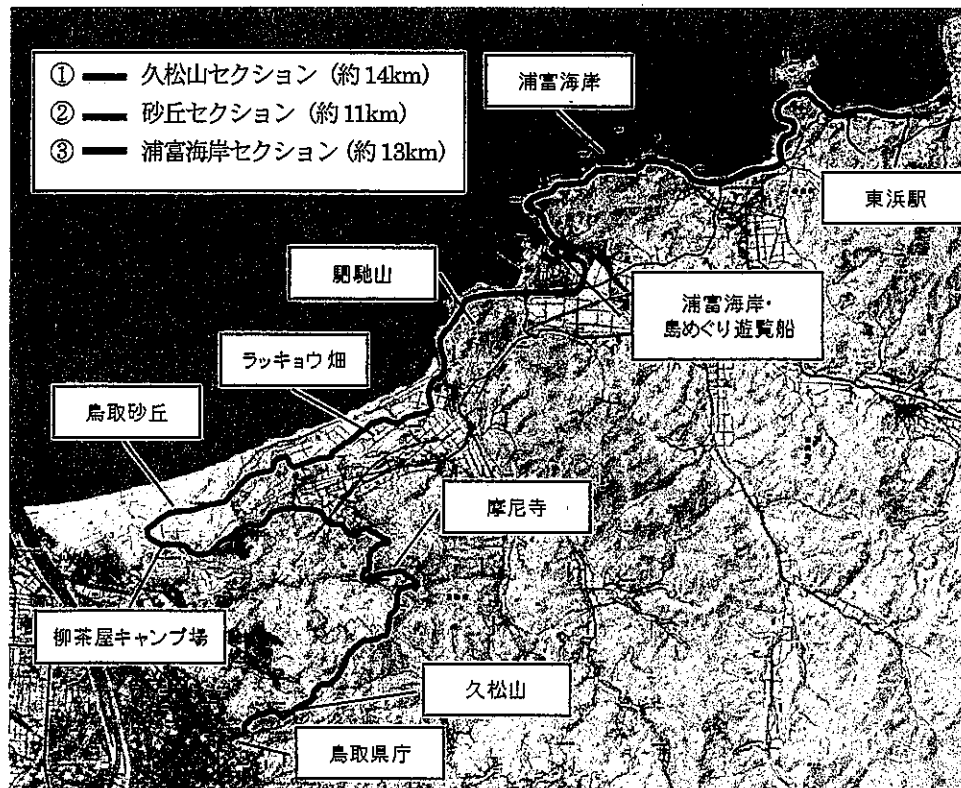
(2) 調査結果概要

鳥取砂丘－浦富海岸ルート（久松山～鳥取砂丘～浦富海岸、約38km）が、優先的に整備を進めていくルートとして適当である。

[調査エリア]

鳥取砂丘・浦富エリア、白兔海岸エリア、扇ノ山エリア、千代川エリア、湖山池エリア、鹿野エリア

(鳥取砂丘－浦富海岸ルート)



(ルートの特徴)

- ① 自然歩道を中心としたルートで構成できるコースである。
- ② 鳥取砂丘、浦富海岸、漁村の風景など地域ならではの独自の魅力が伝わるルートであり、確立されたネームバリューのある観光地を含むルートでもあり、PR効果も高く、誘客も期待できる。
- ③ 発着点となる久松山あるいは東浜駅は、利用者のアクセスが容易である。
- ④ キャンプサイトもあり、利用者に必要なトイレ等の施設も既にルート沿いにある。
- ⑤ 自然歩道は行政が管理しており、新たに維持管理の手法を検討しなくても良い。

(課題)

- ①受入れ体制の整備
案内・問い合わせへの対応、マップ整備、ガイドサービス提供、ルート上の道標設置などの受入れ体制の整備を進めていく必要がある。
- ②情報発信・活用
受入れ体制の整備に併せ、インターネットによる情報発信、トレイルルートを活用したイベントの実施やツアー造成などを進めていく必要がある。
- ③運営体制の整備
受入れ体制の整備や情報発信・活用など、トレイルに必要な取組を推進する運営体制を整備する必要がある。

🚲 平成 27 年度 鳥取県自転車利用促進セミナー

自転車漫才！

「自転車・今何が起きているのか」

日 時 平成 27 年 6 月 30 日 (火) 午後 2 時から 3 時 30 分まで

場 所 三朝町役場総合文化ホール大会議室 (三朝町大瀬 999-2)

講 師 NPO 自転車活用推進研究会理事長 小林 成基 氏

カリスマ自転車ツーキニスト 疋田 智 氏

主 催 鳥取県



わが国の自転車利用促進の第一人者である、NPO 法人自転車活用推進研究会・小林理事長とカリスマ自転車ツーキニスト・疋田氏を招き、両氏の軽妙なトークを通じて、自転車のルール・マナーをはじめ自転車先進国と比較して日本で自転車文化が確立しない原因などを楽しみながら学びます。

■タイム・スケジュール

14:00~14:10 開会挨拶、講師紹介

14:10~15:10 自転車漫才！

15:10~15:30 質疑応答

15:30 閉会

【対象】

自転車関係行政担当者(県及び市町村の環境・道路・交通・観光部局、鳥取県警察)、自転車関連団体、温泉ライダーIN 三朝関係者 など

■講師プロフィール



こばやし しげき
小林 成基 氏

NPO 自転車活用推進研究会理事長
安全で快適な自転車利用環境創出の促進に関する検討委員会(国土交通省・警察庁)委員

衆議院議員公設秘書、政策担当秘書、大臣秘書官として 20 年間活動。退職後、自転車の活用推進を唱え、NPO 自転車活用推進研究会理事長として、自転車名人の選出や講演など様々な活動を行っています。



ひきた さとし
疋田 智 氏

自転車 ツーキニスト

TBS 情報制作局のプロデューサーで、「自転車ツーキニスト」という自転車で通勤する人を意味する語を広めている。本業の傍ら、講演や執筆などを通じ、都市交通における自転車の活用推進を唱えています。

※『自転車“道交法”BOOK—自転車で安全に走るためのガイドブック』(樫(エイ)出版社)等の共著あり

【問合せ先】 鳥取県 生活環境部 環境立県推進課 環境実践推進担当 (秋山、中田)
電話：0857-26-7875 メール：kankyourikken@pref.tottori.jp

